

意見交換会開く

大建協土木委・県建設政策課ら

ICT普及で一致

書類簡素化へ引続き協議

【大分】(一社)大分

県建設業協会土木委員会
(大庭浩司委員長)と大

分県土木建築部建設政策
課等は27日、意見交換会

『写真』を大分市のレイ
ンブランチホテル大分で

開催し、人手不足の中、
円滑な施工を実施するた

めに書類の簡素化やIC
T施工の推進について、
引き続き取り組んでいく

ことでも意見が一致した。
会には、大分県建設政
策課から島津恵造参事監
兼課長と楠野貴大主幹、
公共工事入札管理室の古
庄和紀室長、工事検査室
の古川卓宣室長らが、協会
から大庭委員長をはじめ
各支部の土木委員のほか
土木施工管理技士会の企
業頭、大庭委員長は

雨による災害が発生し
た。日田地区では平成29
年の災害復旧が行われて
いるさなか再び大きな災
害が発生し、玖珠と九重
地区では数十年ぶりの災
害となつた。人手不足の
中で早期復旧を図るため
にも設計や発注方法など
について可能な限り協議
したい。地域の守り手と

しての責務を果たすた
めに、少しでも課題を解
決が始まるが、積極的な
応札ができるよう
受注環境を整えた
いと思ってる。

意見交換で課題の
解決に向けて一緒に
に取り組んでいく」と述べた。

意見交換では、
土木委員から「施
工期間等の平準化
▽書類の簡素化▽
実態に即した設計
などを講習会や研修会を具
と協会が共同で開催し、
さらなる普及を図ること



の委託成果品▽工

事成績評定▽ICT施
工の推進▽コンクリート
ブロック積工（谷積）の
大型ブロック積（布積）
化を提案した。

書類の簡素化では、県
が受発注者で認識を共有
などを記載した手引きを
作成し運用していること

を報告。今後、アンケー
ト調査で寄せられた意見
を踏まえ、ワーキンググ
ループで引き続き簡素化
の可能な項目を協議して
いくと回答した。

ICT施工の推進につ
いては、専用の機器等の
購入やレンタルへの高い
コストが懸念されている

ことから、既存の重機等
を部分的にICT化しコ
ストを抑えた施工方法な
どを講習会や研修会を具

と協会が共同で開催し、
さらなる普及を図ること

決していい」とあ
さつ。

島津課長は「7月豪雨

では、1600件で被害

が発生し、総額が300
億円を超える規模となっ
ている。9月から災害査
定に着手し、これまでに
約4割を終えており、今
年末までに完了する見込

み。年明けから工事の発
注が始まるが、積極的な
応札ができるよう
受注環境を整えた
いと思ってる。

意見交換で課題の
解決に向けて一緒に
に取り組んでい
く」と述べた。

意見交換では、
土木委員から「施
工期間等の平準化
▽書類の簡素化▽
実態に即した設計
などを講習会や研修会を具
と協会が共同で開催し、
さらなる普及を図ること

を報告。今後、アンケー
ト調査で寄せられた意見
を踏まえ、ワーキンググ
ループで引き続き簡素化
の可能な項目を協議して
いくと回答した。

ICT施工の推進につ
いては、専用の機器等の
購入やレンタルへの高い
コストが懸念されている

ことから、既存の重機等
を部分的にICT化しコ
ストを抑えた施工方法な
どを講習会や研修会を具

と協会が共同で開催し、
さらなる普及を図ること